



昭和40年代の野島海岸 令和初期の野島海岸



↑↑↑↑↑↑
黒川まさるの政策動画は
こちらからどうぞ

黒川まさるのローカルマニフェスト 「愛する金沢再生・地区別プラン5」を発信

黒川まさる市議の『愛する金沢再生プラン 5』には、全体プランと地区別プランがあります。人口減少に歯止めをかけるには子育て支援策や経済対策、地域の交流の政策が不可欠であり、金沢区の魅力を高める観光政策も若い世代のみなさんに金沢区を引っ越し先に選んでもらうための重要な政策だと訴えたものが全体プランです。

そして、金沢区を5地区に分けてそれぞれの地域の個別の政策を示した地区別プランも、これまでに取り組んだ『黒川まさるはやりました』、現在進行中の『黒川まさるはやっています』、今後取り組んでいく『黒川まさるはこれからやります』と3つに分類し、読者のみなさんにお伝えしています。



スマートフォンでも見やすい



市長の政策動画を作成しました

① 六浦地区

やっています

『愛する金沢再生プラン5』
地区別プラン

やりました

- ★横浜市のまち普請事業助成金によって、内川の『森のお茶の間』、東朝比奈の『ほっこり』などの多世代交流拠点の整備が進みました。
- ★瀬戸橋住宅の建替について、地域の声を取り入れて駐車場の設置計画を見直しました。
- ★朝比奈峠（金沢鎌倉線）の中央車線の反射板を撤去し、タイヤがパンクする危険性を除去しました。
- ★金沢八景シーカヤックレースを、実行委員長として開催し、カヌーやSUPの普及にも努めました。



人々が集う『森のお茶の間』



カヌー大会は
海の公園からスタート

- ★六浦原宿線の渋滞緩和のため、都市計画道路六浦逗子線の環状4号線から白山道へのトンネル及び上部の接続道路の早期開通を目指します。
- ★池子米軍住宅飛び地の米軍からの返還と大災害時の活用について地域の声を踏まえて取り組んでいます。
- ★地域の建築協定を見直して、若い世代が戻ってきた柳町の取り組みをモデルに、一戸建ての住宅街に若い世代を呼び込む政策を推進します。
- ★三艘町内会館前の京急の踏切を歩行者の安全のために1m拡幅し、カラー舗装する工事が始まります。

これからやります

- ★朝比奈から栄区に抜ける相武トンネル改良工事はLED化や安全対策を徹底し、早期完成を目指します。
- ★六浦地区内に多く存在する危険な崖対策に、道路局・環境創造局とともに、県にも要望し取り組みます。
- ★高速環状南線の早期完成、六浦原宿線栄区区間のバイパス化など渋滞緩和策を進めます。
- ★塩場・南三艘の市営住宅の建て替えに向けて基礎調査を行い、建て替え計画を進めます。



白山道側出入口



六浦原宿線からの出入口

②旧金沢地区 やっています

『愛する金沢再生プラン5』
地区別プラン

やりました

- ★町屋地区の国家公務員住宅跡地には、地元とも調整し地域交流室などを設けて、特別養護老人ホームが新たに2か所完成しました。
- ★谷津二の橋交差点の改良工事が完成し、国道への車の出入りがスムーズになりました。
- ★金沢八景権現山公園が開園し、以前の所有者に要望いただいていた旧円通寺客殿（木村家住宅）も保存・公開されました。
- ★ログ金沢跡地に区内9館目の地域ケアプラザとコミュニティハウスが、特別養護老人ホームとの複合施設として完成しました。



- ★ひとり親家庭を対象にした子ども食堂を手伝い、母子の心のケアにも取り組んでいます。
- ★平潟湾や八景島周辺海域のマリンレジャーと漁船・釣船との間の、安全対策に取り組んでいます。
- ★グリラ豪雨や台風時における野島乙舩地区の、高潮被害を防ぐ災害対策に取り組んでいます。
- ★災害時医療拠点機能、障がい者歯科診療なども包含した、新たな三師会館の建設に取り組んでいます。

これからやります

- ★区民のみなさんにとって使い勝手が良く、誰もが活用できる金沢区民文化センターを作ります。
- ★寺前の旧国道から海岸通りへ抜ける都市計画道路の整備を、地元の声を捉えた上で着実に進めます。
- ★京急サニーマート跡地や隣接する国家公務員住宅など、区の中心部の開発を総合的に検討・推進します。
- ★柴漁港内に、獲れたての魚介類の

買い物や新鮮な魚介類の天丼などの食事が出来て、子どもたちも楽しめる体験型の観光商業施設を漁業者のみなさんの意見を踏まえて設置します。

③釜利谷地区 やっています

『愛する金沢再生プラン5』
地区別プラン

やりました

- ★少年野球・少年少女ソフトボールの『関東学院大学カップ』を毎年開催しています。
- ★宮ヶ谷の車道を横切って横断する人たちへの横断禁止措置を様々な手段を講じて実施しました。
- ★小泉の『八景市場』や『ルンビニーつながりの庭』など、民間主導の地域拠点を応援しています。
- ★同志の仲間とお寺の本堂を会場に落語の会を毎年開催し、地域のみなさんと交流を図っています。



- ★釜利谷の空き家をリニューアルした、地域のみなさんで運営する多世代交流拠点『ふれあいカフェ』開設のお手伝いをしています。
- ★水族館や金沢文庫の商店街との連携・クラウドファンディングの活用など、新たな金沢自然動物園の活性化に取り組んでいます。
- ★釜利谷地区のバス路線を停留所の増加やコースの見直しで、高齢者に優しいバス路線に改善しています。
- ★釜利谷の狭い道路やセットバック後に自動車の邪魔になる電柱の移設

について、土木事務所や東京電力と調整を図り取り組んでいます。

これからやります

- ★金沢ブランドの認定など、農家のみなさんの地産地消や6次産業化の取り組みを応援し、金沢区民の地元の農業への理解を深めます。
- ★区内の2つの大学に対して、グラウンドや施設の開放、中学校の部活動への支援、区内企業や団体との協働の取り組みなど、地元への地域貢献活動を求めてまいります。
- ★金沢自然動物園の活性化策を、八景島の水族館との連携や3園体制の見直しなども含めて検討します。
- ★釜利谷の高齢者の地域活動と介護との因果関係を調査・分析し、健康寿命を延ばすことにつながると思われる調査に協力します。

④能見台地区

やっています

やりました

- ★片吹では地域交通サポート事業として、能見台駅への新バスルートが地域の力で開通しました。
- ★高齢者、子育てママ、児童生徒に配慮した傾斜の緩い片吹人道橋が再整備されました。
- ★高齢化が進む地域のテニスクラブの活性化に協力しています。
- ★谷津から能見台に抜ける踏み切りに歩道を確保し、カラー舗装ですれ違いをしやすくするなど、安全に配慮した対応をしました。



能見台第二踏切のカラー舗装

- ★厚労省の移転に伴い、取り壊しの危機にあった国指定の文化財である長浜検疫所一号停留所の移設・保存のための運動に協力しています。
- ★子育てママたちが地域の中で交流する『親と子の集いの広場』をすべて訪問し、地域子育て支援拠点『とことこ』との連携や横の繋がりの強化を進めています。
- ★高校野球の振興と支援を目的に、地元の有志のみなさんと定期的に会合を重ね、子ども野球教室などで地域スポーツの振興を図っています。



『とことこ』は地域の子育て拠点

これからやります

- ★能見台四丁目の中学校予定地など未利用の市有地について、有効な活用方法を検討します。
- ★能見台地区の区画の広い一戸建ての住宅街における、高齢化対策や空き家対策に取り組むとともに、若い世代に選ばれるまちづくりを、地域のみなさんと考えてまいります。
- ★能見台駅前の交差点に停止線を引き、渋滞の緩和とバスやタクシーの安全な運航を確保します。



長浜検疫所の一号停留所は移転・保存へ

『愛する金沢再生プラン5』
地区別プラン

⑤富岡並木地区

やっています

やりました

- ★コロナワクチン接種後の割引サービスなど、民間商業施設のピアレ横浜を会場とした集団接種は多くの市民に好評でした。
- ★事故のあった富岡小学校の通学路の安全対策としてガードレールやカラーベルトを設置しました。
- ★坂の多い富岡西地区では地域交通政策としてトミオカートの取り組みを成功させました。
- ★菅元総理とも連携し、福浦・幸浦の護岸工事をわずか1年半で完成させ、遊歩道や海釣り施設・駐車場を新たに整備しました。



全長1.3キロの福浦の護岸

- ★企業の社宅跡を高層マンション群に建て替える再整備・開発などで、並木に若い世代を呼び込みます。
- ★地域の子どもたちと工業団地を繋いで、ものづくりの大切さを教えるAOZORA FACTORYの取り組みを応援しています。
- ★臨海部の観光商業施設でのコンプづくりや区内各地の歴史的資産巡りなど、体験型観光振興を図ります。
- ★並木地区のシーサイドライン沿いの街路灯をLEDに交換し、歩道も車道も明るい夜間照明にします。



企業と地域をつなぐAOZORA FACTORY

これからやります

- ★富岡米軍倉庫跡地と隣接国有地を一体化して、住宅や商業施設を含めた複合的な開発を提言しています。
- ★福浦の護岸上部に設置される散策路や海釣り施設の、安全で清潔な利用による活性化を推進します。
- ★小柴自然公園に多目的スポーツ広場やインクルーシブ公園・家庭菜園などを整備し、誰もが楽しめて自然を満喫できる公園を創ります。
- ★金沢シーサイドラインの各駅に、



小柴自然公園は順次開発へ

シェアサイクルのステーションの設置を提案して、周辺地区のみなさんの健康増進を後押しします。

ウクライナ・オデーサ市長が横浜市会本会議場で演説

オデーサ市のゲネディートゥルハノフ市長が姉妹都市である横浜市に対して、様々な支援に対する謝意を表しに3月15日に来日されるとの情報が入りました。横浜市会運営委員会の黒川まさる委員長は、16日の本会議最終日に、市会議長へのご挨拶に訪れる予定だと国際局に聞き、本会議場で全議員を前に演説をしていただくべきだと主張し、他の会派からの賛同も得て、オデーサ市長の議場演説が実現しました。

横浜市からは2千万円の義援金と約2千4百万円の市民や企業からの

寄付金がオデーサ市に送られました。2千着の防寒着が市民の寒さをしのぎ、33台の浄水器も飲料水の確保に大活躍しているとオデーサ市長から報告があり、最近の状況と感謝の様子がビデオで流されました。

現在も108人の避難者が横浜に住み、女性や子どもたちが集い安らげるウクライナカフェは貴重な情報源としても感謝されています。

1日も早い平和の回復と、終戦後の復興支援も含め、横浜市は姉妹都市であるオデーサ市に寄り添い、これからも支援を続けてまいります。



オデーサ市長の感動的な演説



ロシアの爆撃で炎上するオデーサ市の建物



救助活動するオデーサ市民の様子



バリケードが敷き詰められた大通り



記念のタオルで歓迎しました

横浜自民党のマニフェスト『責任と約束』もお読みください

黒川まさる市議がよこはま自民党の政務調査会長として策定に取り組んだ、よこはま自民党の政策集『責任と約束・子どもたちの未来へのコミットメント』は21ページ仕立ての横浜市の未来を見据えて市民とともに政策を考え策定したよこはま自民党独自のローカルマニフェストです。

子育て・教育・医療・福祉・防災・まちづくり・環境・経済・財政・行政の各分野を網羅したマニフェストの詳細な内容は、横浜自民党のホームページからご覧になれます。こちらをあわせてお読みいただき、横浜の未来についてみなさんも一緒に考えてみてください。



監修を依頼した作家の小松成美さん

『日本一の政策集団』と評価されるよこはま自民党の歩み

<p>責任と約束 2011</p> <p>日本の政策事例を議会主導で制定することを約束しました。</p>	<p>責任と約束 2015</p> <p>数値目標を掲げて、議員が政策を創ることを約束しました。</p>	<p>責任と約束 2019</p> <p>国連が掲げるSDGsに合わせた横浜独自の政策の実現を約束しました。</p>
<p>5年間かかりましたが日本の条例を議員提案によって自民党主導で実現しました。</p>	<p>制定した条例に基づく政策を次々と実現させて、議員が政策を提案・実現させる流れを作りました。</p>	<p>『SDGs未来都市』の指定と、菅義偉首相（当時）の2050年カーボンニュートラル宣言を受けて未来に向けた政策を次々と実現しました。</p>
<p>第9回(2014) マニフェスト大賞 グランプリ 応募総数2,223件、全国No.1に当時まだなかった議員提案による政策事例の制定をマニフェストに掲げ、多くの条例を実現させたことが評価されました。</p>	<p>第13回(2018) マニフェスト大賞 議会部門特別賞 応募総数2,422件、マニフェストで掲げて実現させた政策の実績を顕著として表彰された。議員が政策を提案・実現させる流れを作りました。</p>	<p>Manifesto Awards 第17回(2022) マニフェスト大賞 最優秀賞 応募総数1,133件、インターネットによる市民からの提案を重視して政策にまつめるプラットフォームを作り、即年の政策に手厚くして実現する『市民参加型の政策実現サイクル』の実績が高く評価されました。</p>